

12月7、8日に地理空間情報フォーラム

最新の取り組み紹介

日本測量協会(日測協、清水英範会長)ら4団体は「地理空間情報フォーラム」を12月7、8日に東京都内で開催する。企業や団体、行政機関など25者が出展。ICT(情報通信技術)施工に役立つ高精度測位技術や、調査・設計を効率化する3D点群処理システムなど、G空間情報(地理空間情報)に関連する最先端の技術やサービスを披露する。内容は同1、26日の間、オンラインでも視聴できる。

日測協らで作る協議会が主催する「G空間EXPO2021」
 写真やポスターの関連イベント。フォーラムは国土交通省など関係行政機関に加え、測量

日測協ら



会社や通信事業者などがブースを出展。機器の展示などを通じ、各者の取り組みを体感できる環境を用意する。参加すれば、測量技術者が講習の受講歴を証明する「測量CPD」制度で最大2ポイントが取得できる。

日測協以外の主催者は▽全国測量設計業協会連合会(方波見

正会長)▽日本測量機器工業会(平野聡会長)▽日本測量調査技術協会(岡部篤行会長)の3者。

G空間EXPOでは国土地理院が主催する「Geoアクトビティコンテスト」と、研究機関などが成果を発表する「講演・シンポジウム」も併せて開催する。

会場は東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区海岸1の7の1)。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場は事前登録制となる。オンライン試聴の事前登録は不要。詳細はホームページ(<https://www.g-expo.jp/>)を